シリーズ「社会課題」　複雑な現代の社会課題をひもとき、各分野の専門の方々に解説をしていただくコーナーです。今回のテーマは「スマートシティ」です。鎌倉市政策創造課スマートシティ担当松村さんに寄稿していただきました。

■「スマートシティ」って知ってますか？

インターネットで検索してみると、**「テクノロジーを活用して地域が抱える課題を解決する持続可能なまち」**などの説明が出てきます。では、なぜテクノロジーを活用して持続可能なまちにしていく必要があるのでしょうか？

それは、少子高齢化による働き手不足や、大規模災害の頻発、新型コロナウイルスの流行などにより、これまでの生活が維持できなくなってきているからなんです。**テクノロジーは、この生活の維持をサポートしてくれる存在なんです！↗↗**

→→

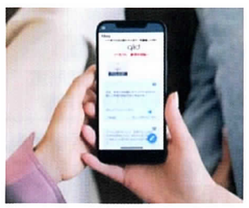
さて、このスマートシティ、**鎌倉では市民の方の"声"を大切にしていきます。**実は既に、市民の皆さんと一緒に鎌倉のまちのみらいについて考え始めています。ここでは2つの取組をご紹介します。

鎌倉市政策創造課
スマートシティ担当
松村さん

①スマホで意見、言えるんです！

皆さんはこれまで「まちづくり」に参加してみようと思ったことがありますか？

参加機会としては、市民対話や説明会などがありましたが、会場に足を運ぶことに「なんか面倒だなあ」と思われていた方は多いのではないでしょうか？そこで、**「オンラインで簡単に意見を投稿できるプラットフォーム」**の導入を試験的に開始しています。現在、「西鎌倉地域の移動」について、スマートフォンやパソコンから24時間簡単に意見を投稿できますので、一緒に持続可能なまちについて考えてみませんか？



（意見を言いたい、
他の人の意見を見てみたい
という方はこちらから）

②「あったらいいな」は創れるんです！

３Dプリンタって、テレビの中の世界だと思っていませんか？３Dプリンタやレーザーカッターなどの機器や技術のことを「ファブ（Fab）」といいます。なんと、鎌倉市はこのファブを活用したまちづくりを進める「FabCity宣言」を日本の自治体で唯一宣言しているまちなんです。世界ではパリやバルセロナなども宣言しているんですよ。さらに鎌倉市はFabの研究所であるFabLab(ファブラボ）という施設があります。ここでは「欲しいんだけど売ってないんだよね～」といったグッズや部品などを自分たちで作ることができるんです。身近なあったらいいな！を一緒に作ってみませんか？

（FabLabについて
もっと知りたい！
という方はこちらから）

より多くの市民の皆さんと「鎌倉の未来」について共に考え、
共に創っていきたいと思っています。
ぜひ、積極的なご参加をお待ちしています！

鎌倉市政策創造課スマートシティ担当　松村 隆介

「かまくらパートナーズ」105号　発行日：2023年1月

ＮＰＯセンター鎌倉　〒248-0012　鎌倉市御成町18-10　鎌倉市役所 第2分庁舎　TEL/FAX：0467-60-4555
ＮＰＯセンター大船　〒247-0061　鎌倉市台1-2-25（たまなわ交流センター１階）TEL/FAX：0467-42-0345

私たちは社会貢献に取り組む活動をサポートしています

鎌倉パートナーズ

鎌倉市市民活動センター広報紙　第105号　令和5年冬号（季刊）
発行／編集：鎌倉市市民活動センター https://npo-kamakura.com/

リレートーク No.24

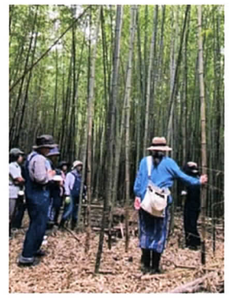
鎌倉竹部
（かまくらたけぶ）
樋口純子

スマホでのアクセス
はこちらから

リレートークとは：鎌倉市で市民活動に取り組む人とその団体にスポットをあて、活動の様子を紹介するコーナーです。鎌倉らしい活動をされている方、地道にコツコツと頑張っておられる方がお近くにいらっしゃいましたら、リレーの輪に加わっていただきたいと思います。
是非、お知らせください。

こんな市民活動しています！

目指すは持続可能な竹林整備と"半竹半X"な暮らし！



竹林整備をしていて、切り出した後の竹の行き場がないことが課題でした。楽しく、しかも設備などがなくても、例えば女性1人でも、手軽に竹を活用する方法を見出せれば自然と竹林整備に人が集まる仕組みができると感じ、竹細工に行き着きました。そこで、千葉から全国に竹細工の活動を広められている房総竹部さんの門をたたき、鎌倉での竹細工の活動が2021年2月スタートしました。

定期活動としては、月に2回竹林整備から始まる竹細工の活動を行っています。竹は整備を必要とする植物なので、適切に整備しながら、切り出した竹材を竹細工に活用しています。また、成長サイクルの早い竹を活用する意義とその楽しさを広めるために『竹切りからはじめる竹細工スタート講座』を春秋に開催して新しい仲間を募っています。他にも、神奈川県内でイベントに出店したり、竹を使った空間演出を行い、地域の竹をその地域で生かす　"竹の地産地消"を促進する活動も行なっています。

鎌倉竹部に入ったきっかけは人それぞれですが、竹林整備と竹細工がセットとなった活動の本質に賛同される方が多く、仲間と山に入り、竹と戯れる時間が生まれたことで暮らしが豊かになった！楽しみが増えた！との声をいただきます。「生涯の暮らしの仲間が見つかった」という方も。

また、この活動を持続可能なものとするために"労働世代も時間を使える仕組み＝生業化"を目指しています。生業化にあたっては、メンバーそれぞれの個性、スキルが存分に発揮された状態で、竹を通じて提供できる価値を最大限に引き出し、地域の竹をその地域に還元していきたいと考えています。

竹の活用方法は、アイデアと技術次第で無限にあると感じています。ご縁あり私たちの活動と接点を頂いた皆さまに最適な形で竹を通じたコミュニケーションをご提案したいと考えています。
結果として、鎌倉がアイデア溢れた竹活用の町になればいいなと思います。

11月に開催した市民活動フェスティバルin MUJIcom鎌倉では、鎌倉竹部さんに「竹のクリスマスツリー」を制作協力いただきました。ウィンドウ越しにきらめくツリーにうっとり！
素敵な演出をありがとうございました。

第24回 かまくら市民活動フェスティバル レポート

- 11/21(月)～27(日)　in　MUJIcom鎌倉（ホテルメトロポリタン鎌倉1階）
- 12/3(土)　in　鎌倉中央公園
- 12/10(土)・11(日)　in　きらら鎌倉

NPOセンター史上初、3会場に分散して開催した「第24回かまくら市民活動フェスティバル」は皆様のご協力をいただき、無事終了いたしました。場所を変え、内容や趣向も変え、対象年齢も変え、という新たな挑戦でした

知らない世界の話を聞いたり、平和について考えたり、食について真面目に考えたり、海藻を餌にしたおいしいポークを食してその誕生秘話を聴いたり、屋外で大人も子どもも一緒になって身体を動かしたり、ダンスを見たり、市民活動をしている団体同士でつながったり…地域とつながるコツを教わったり。。。。

あらためて「NPOセンターの役割」を見つめ直し、今回、フェスティバルの多様化を試みましたが、いかがだったでしょうか。多くの方にご来場いただきましたが、そこから色々な輪が広がることのお手伝いができたとしたら、何よりです。

そして様々な形でご協力、応援いただいた方々に心より感謝いたします。

（かまくら市民活動フェスティバル実行委員会）

11/21-27　MUJIcomホテルメトロポリタン鎌倉

NPOセンターを知っていますか？

あなたの理想のまち鎌倉を描いてみよう

SDGｓフォトコンテスト市民賞は？

鎌倉海藻ポーク
水産・福祉・畜産の3つの連携

SDGｓ関連図書の展示

平和について語り合うワークショップ

竹のクリスマスツリーが素敵でした！

12/3　鎌倉中央公園

谷戸の恵み

森deガイドウォーク

ダンス！ダンス！

タグラグビーから学ぶチームづくり

ハートフル指導
石川安彦さん♥

12/10-11　きらら鎌倉

SDGｓフォトコンテスト表彰式

おはなし会

団体パネル展での交流

リアス・アーク美術館所蔵
東日本大震災現場写真展

シリーズ「町内会」町内会は「超イイ会！」

地域の組織作りの基盤、町内自治会への加入率が下がる傾向が続く一方で、災害時など地縁のつながりの強化も求められています。そんな中、先駆的な試みに取り組んでいらっしゃる町内会をご紹介します。

浄明寺町内会

地引網の様子（坂ノ下）

コロナの影響で当町内会の活動も様変わりし、毎月の役員会はすべてオンライン会議にし、ほぼ回覧板に頼っていた町内会員への情報伝達は電子回覧板、LINEグループなども併用するようにして不十分ながら町内のコミュニケーションを絶やさない努力を続けました。そのような中で今年度は活動の再開を模索し、感染拡大に十分配慮しながら、夏祭り、盆踊り、地引網、ハロウィン、防災の集い＆芋煮会を開催することができました。活動を「あきらめる」から「なんとかしてやる」という方向に皆の気持ちが切り替わった時、知恵と工夫が生まれました。災い転じて福となす。コロナという状況を通じて、地域のレジリエンスというか町内会の地力が上がったような気がします。

（浄明寺町内会防災担当　西畑直樹）

報告　2022年度　NPO支援　かまくらファンド

晴天に恵まれた文化の日に22回目の「ＮＰＯ支援　かまくらファンド公開審査会」が、たまなわ交流センターで開催されました。この「かまくらファンド」は、鎌倉で社会貢献活動を行う団体の活動資金を支援する目的で2001年に生まれました。

行政に頼らず、市民の方々の温かいご寄附や運営会議会員の会費などによって支えられ、市民活動の活性化への願いのこもった基金です。コロナ禍で活動が思うように進まない団体も数多くございましたが、工夫を凝らして活動を再開している団体も目立ってきています。

昨年まで、110事業に約700万円の助成を行ってまいりました。そのうち340万円は、企業・寺院や大船センターに設置している「玉手箱」、フェスティバル開催時のバザー等へのご寄附によるものです。今年の審査会は、事前の書類審査を経た、8団体で審査を行いました。審査会は、熱のこもったプレゼンテーションの後、審査が行われ5団体に助成金が授与されました。ＮＰＯ法人が自力で助成金を交付することは殆んどなく、困難な事業でありますが、小規模ながら継続することの大切さを痛感しております。今後も、『かまくらファンド』が継続できますようファンド部員一同努力し、充実させてまいります。
みなさまにおかれましても、市民活動の活性化のためご寄附等のご支援をよろしくお願い申し上げます。

認定ＮＰＯ法人　鎌倉市市民活動センター運営会議　ファンド部会　平塚　優

審査委員

市川昇一郎　様　鎌倉市七里ガ浜小学校講師（前富士塚小学校校長）
河野　匡孝　様　社会福祉法人　鎌倉市社会福祉協議会　地域福祉課　課長
瀧澤　　博　様　鎌倉市市民防災部　次長
手塚　明美　様　一般社団法人　ソーシャルコーディネートかながわ　代表理事
奈須　菊夫　様　鎌倉商工会議所　事務局長

助成団体と使途の概要

事　業　名　（団　体　名）
▶▶　助成金の使途

宝探しゴミ拾い(Miigo)（学生団体　ニューコロンブス）

▶▶　イベントで使用する「タープテント」「机」「椅子」「台車」の購入。
「問題冊子」の作成

鎌倉のこどもローカルマガジンの作成　（ＮＰＯ法人　マナビノキ）

▶▶　「こどもローカルマガジン」の印刷・製本費

建長寺ブロンズ模型プロジェクト　（ユニバーサル絵本ライブラリー　UniLeaf）

▶▶　建長寺境内に設置する「仏殿をかたどったミニチュアブロンズ模型」の近くに設置する、点字と活字で仏殿の説明と取り扱い(触ってよいとか)等を説明する案内板の制作

映像やイベントを通して防災を普及させる活動　（学生団体　玄海）

▶▶　防災を発信するための映像制作に使用する、「撮影用スマートフォン」及び「周辺機器」の購入。主催者と参加者をわかりやすくするための「Tシャツ」の製作
撮影用「消防ホース」の購入

おもちゃ病院　かまくら　（おもちゃDrs　かまくら）

▶▶　おもちゃの修繕用部品の製作のための「3Dプリンター」の購入

NPOセンター
新規登録団体のご紹介（9月～12月）

大船学びの駅伝プロジェクト

2020年、Nekton大船のコワーキングスペースでつながった様々な経歴を持ったメンバーの団体です。「まなび」のたすきで人をツナグ・地域をツナグそんなプロジェクトを大船でスタート。キッズを対象に、実験教室、プログラミング道場、電子工作系のワークショップなどを開催。子どもに沢山の先人と触れ合うための場を提供し、経験や学びを次世代につなぐ事を目的に活動します。
https://www.ekidenproject.jp/

ユニバーサル絵本ライブラリー UniLeaf

点字を、人をつなぎ、思いを共有できるものに！見える子と見えない子が一緒に使える、英国発祥のユニバーサルデザイン絵本を日本初導入。現在蔵書1,200冊、毎月35の家庭や学校に定期貸出。高校授業や大学、市民、企業で製作講座も開催しています。
https://unileaf.org

クリスタルボウルを聴く会

クリスタルボウルなど倍音を多く含む楽器の音色を聞くと、脳波がα波やθ波などの深くリラックスした状態となります。不安や争う心から解放され、穏やかで平和な心の時間を確保する。そのような人が増え、穏やかさが伝播することによる平和社会の実現を目指し活動しています。
https://alche-one.com/kikukai/

すずめの会

「最後まで自宅で」を実現するために外出支援の方法を模索しています。道路運送法により、一般車両での運搬業務は禁止されており、運行には公共交通機関や行政機関との協議会等の設立など様々な準備が必要です。ひとつひとつ必要なことを積み上げながら、平行して、実際に日々高齢化の進む町の中で、安全な輸送方法を確保するにはどうしたらよいか？知恵を出し合いながら取り組んでいます。

西鎌倉あいあいの会

夏まつりやハロウィン、和凧づくりや凧揚げ大会、防災・減災教室などの開催に当たって、円滑に運営できるよう、協力するためのプラットフォームの役割を担っています。西鎌倉住宅地に暮らす住民や活動団体の応援団です。

聞き書きボランティアの会　あしあと

人にはそれぞれ、その人だけの大切な物語があります。「聞き書き」とは、あなたからこれまでの人生の歩みや思い、「話したいお話」等を聴かせていただき、それをあなたの「話し言葉」で書き、ひとつの小さな冊子として残すことです。私たち聞き書きボランティアが作成した冊子が、ご自身の人生を優しく振り返る機会になりますことを願っています。

Harmony For Peace Japan

"ひとつとなった声がひとつの世界を創る"～One Voice..One World～をテーマに活動を行っております。心で繋がるコミュニティ、地域住民で助け支え合うコミュニティの参加促進を目指し、「思いやりの心」「優しさの心」「平和な心」の素晴らしさを、音楽やアートを通じて皆さまに届けたい想いです。
https://hfpeacejapan.com/

みんなで鎌倉平和デー

私たちの心が「平和」であり続けること。何よりも、私たち自身が「平和」な表現を続けていく事でそこから「平和」の循環が生まれていく事を願っています。毎年５月に平和パレード、夏には展示会やワークショップを開催しています。様々な個人や団体が各々の想う「平和」をアピールする場にしたいと思っています。音楽から平和を、芸術から平和を、手仕事から平和を、環境を平和に。そんなことなのです。

https://www4.hp-ez.com/hp/peace-kamakura/

事務局からおしらせ

※詳しくはチラシまたはホームページをご参照ください。

■ 「市民活動経理のキホン」を1月21日（土）10:00～12:00に開催します。
直接、税理士さんのお話を聞く良いチャンスです！個別相談もあり。

■ 1月26日（木）10:00-11:30にNPOセンターに登録されている団体の交流の場「利登録団体お話会」を開催します。テーマは「夏休み高校生ボランティアについて語る」です。NPOセンター鎌倉にて。奮ってご参加ください！

■ 2月26日（日）14:00～16:00に企業・NPO・大学・市民のためのパートナーシップミーティングin鎌倉を開催します。テーマは「地域とつながるためのレシピⅡ」協働のもととなる連携・協力・場づくりのためのワークショップに参加してみませんか？
会場はレトロな魅力あふれる大町会館です！

ＮＰＯセンター鎌倉
〒248-0012
鎌倉市御成町18-10
鎌倉市役所 第2分庁舎
TEL/FAX：0467-60-4555
E-mail：npo@chive.ocn.ne.jp

ＮＰＯセンター大船
〒247-0061
鎌倉市台1-2-25
（たまなわ交流センター１階）
TEL/FAX：0467-42-0345
E-mail：npo2@abelia.ocn.ne.jp

登録団体数：336団体
令和4年12月28日現在

※登録団体の登録内容
（連絡先・代表者・活動内容等）
に変更があった場合は、
速やかにお知らせください。